

久留米工業高専煙突・ボイラー室一部 撤去工事

建築意匠図		
図面番号	図面名称	縮尺
A-00	図面目録	N.S
特 A-01	特記仕様書(1)	N.S
特 A-02	特記仕様書(2)	N.S
特 A-03	特記仕様書(3)	N.S
A-01	全体配置図・案内図	N.S
A-02	全体面積表	N.S
A-03	配置図	1/50
A-04	撤去前・後 平面図・屋根伏図	ボイラー室図面 1/100
A-05	撤去前 立面図・断面図	ボイラー室図面 1/100
A-06	撤去後 立面図	ボイラー室図面 1/100
A-07	撤去前 断面詳細図	ボイラー室図面 1/50
A-08	撤去後 平面詳細図・断面詳細図	ボイラー室図面 1/50
A-09	撤去前 平面図・立面図	煙突図面 1/50
A-10	煙突撤去用足場図 (参考図)	煙突図面 1/50
S-01	伏図・軸組図・部材リスト	ボイラー室図面 1/100
S-02	断面図・配筋リスト・各部詳細図	煙突図面 1/10・30・50

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	独立行政法人 国立高等専門学校機構					図面番号
						久留米工業高等専門学校					
						事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高専煙突・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高専煙突・ボイラー室一部撤去工事	図面目録	A1=N.S A3=N.S	株式会社 國武建築設計事務所 久留米市通町105番地の24 1級建築士登録 第181138号 Phone 0942-33-1615 (代) 横 溝 富 一					A-00

○ 他工事又は他工種との取合い ・埋設配管・配線および鉄筋調査	電子部品は製品の規定に従うものとする。 1) 貸与する設計図のCADデータは以下による。 著作権者：独立行政法人国立高等専門学校機構久留米工業高等専門学校 ファイル形式：JWW、DXF、PDF 貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のために使用しないこと。 2) 完成写真の撮影に関する著作権者の権利等については次の(イ)及び(ロ)によることとし、受注者は撮影者等の権利に当たってもそれらの実施を条件とする。 イ) 提出された写真は、独立行政法人国立高等専門学校機構が行う事務及び認められた用途に関して、無償で利用することができるものとする。この際、著作権者を表示しないこと及びその利用に必要な範囲で改変を行うことができるものとする。 ロ) 受注者及び撮影者等は、撮影時に取得した全ての写真（提出していないものを含む。）及びその複製物、複製物を公表、閲覧、譲渡その他一切の方法により第三者に使用させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。 3) 電子部品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者が協議を行う。 4) 電子部品は、提出前に電子部品作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。 5) 提出方法及びファイル形式は以下による。 電子媒体：CD-R又はDVD-R CADデータ：JWW、DXF、PDF及びPDF 上記の他、監督職員が認めた形式	・仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 図示による [2.3.2][表2.3.1]	仮設間仕切りの種類と材質等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>・せっこうボード 種類() 厚さ(mm ※9.5mm) ・合板 厚さ(mm ※9mm)</td> <td>・無し ・片面</td> <td>グラスウール 厚さ mm</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	・A種	・せっこうボード 種類() 厚さ(mm ※9.5mm) ・合板 厚さ(mm ※9mm)	・無し ・片面	グラスウール 厚さ mm	・B種	・	・	・	※C種	・	・	・
	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填																	
・A種	・せっこうボード 種類() 厚さ(mm ※9.5mm) ・合板 厚さ(mm ※9mm)	・無し ・片面	グラスウール 厚さ mm																		
・B種	・	・	・																		
※C種	・	・	・																		
○ 防火改修工事 ・防火改修工事 と取合い ・埋設配管・配線および鉄筋調査	防火改修工事 と取合い ・埋設配管・配線および鉄筋調査	○ シーリング	シーリング改修工事の種類 [3.1.4] [3.2.2.3.7.8]	シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。 図示による																	

○ 軽装シャッター	開閉方式の種類 [5.12.2-4]	○ 軽装シャッター	開閉方式の種類 [5.12.2-4]
	○ 軽装シャッター	開閉方式の種類 [5.12.2-4]	開閉方式の種類 [5.12.2-4]

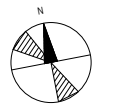
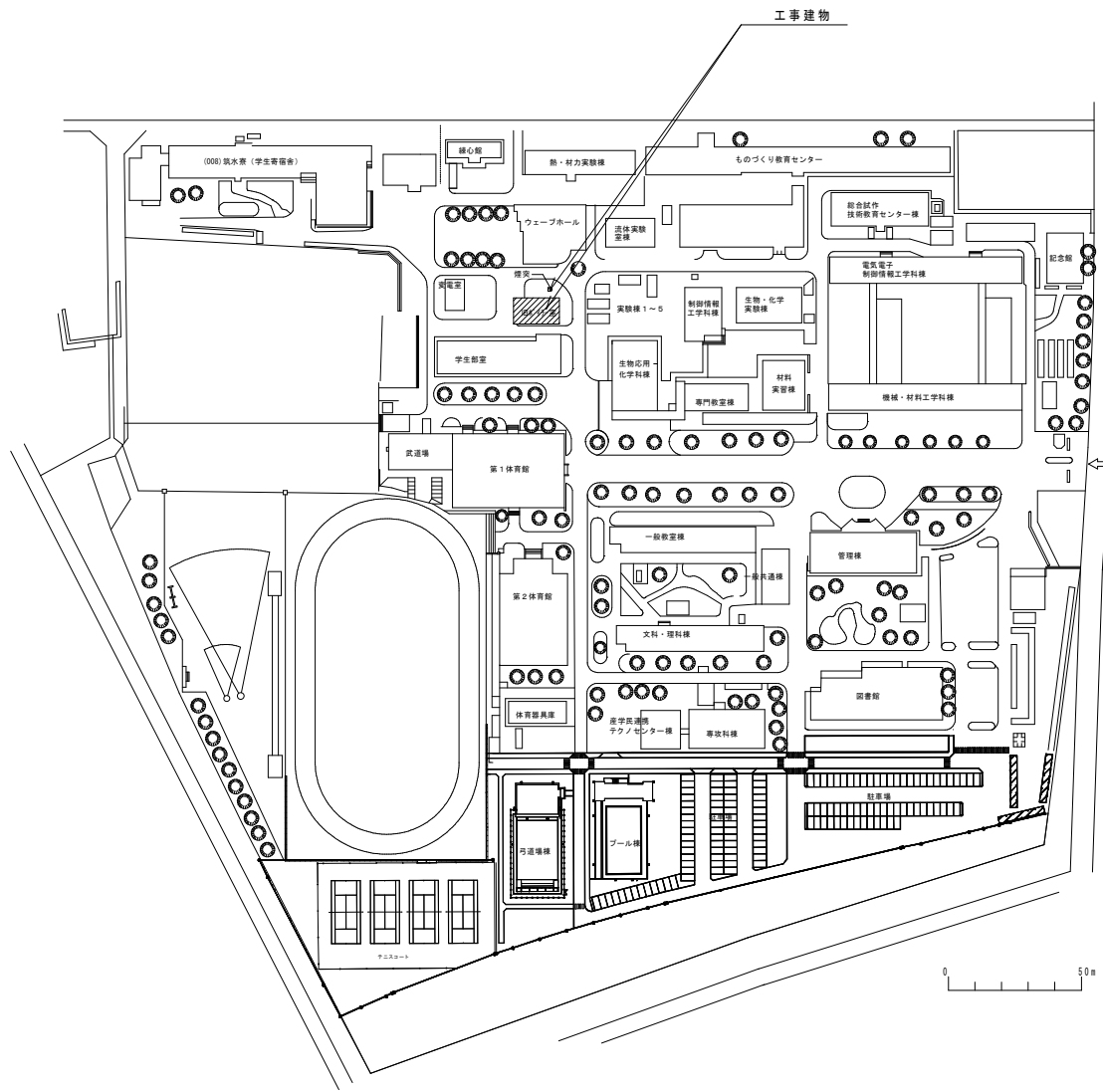
○ 軽装鉄骨下地	スタッド、ランナの種類 [6.7.3.4] [表6.7.1]	○ 軽装鉄骨下地	スタッド、ランナの種類 [6.7.3.4] [表6.7.1]
	スタッド、ランナの種類の ※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ○図示による	○ 軽装鉄骨下地	スタッド、ランナの種類の ※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さを超える場合は ※図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書表6.7.4(5)による

○ 塗装	○ 塗装	○ 塗装	○ 塗装
	○ 塗装	○ 塗装	○ 塗装

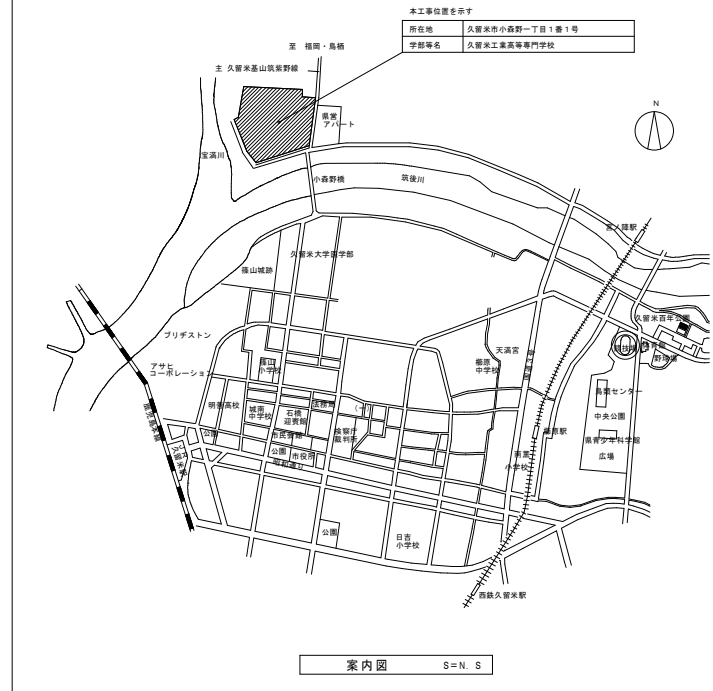
年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 國武建築設計事務所	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校	図面番号
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高等煙突・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高等煙突・ボイラー室一部撤去工事	改修特記仕様書(2)	A1=N.S A3=N.S	久留米市通町105番地の24 1 級建築士登録 第181138号 Phone 0942-33-1615 (代) 横 溝 浩 一	事務部長 総務部長 総務部長補佐 係長 担当	特 A - 0 2

9	<ul style="list-style-type: none"> ○石綿含有建材の調査 ○石綿含有建材の除去工事 	<p>1章 石綿含有建材の調査による</p> <p>○石綿粉じん濃度測定 [9.1.1.、3~6]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 3 点</td> </tr> <tr> <td>測定 2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 3 点</td> </tr> <tr> <td>測定 3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 3 点</td> </tr> <tr> <td>測定 4</td> <td></td> <td>セキユリアライナー出入口</td> <td>計 3 点</td> </tr> <tr> <td>測定 5</td> <td></td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速1m/s以下の位置 計 1 点</td> </tr> <tr> <td>測定 6</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 4 点</td> </tr> <tr> <td>測定 7</td> <td></td> <td>○施工区画周辺</td> <td>計 4 点</td> </tr> <tr> <td>測定 8</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 1 点</td> </tr> <tr> <td>測定 9</td> <td>処理作業後 (シート除去後 1週間以降)</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 1 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動測定器による測定 <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定 4</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、</td> </tr> <tr> <td>測定 5</td> <td>繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・JIS K 3850-1に基づいた測定 <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ</th> <th>試料の吸引流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定 4</td> <td></td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>測定 5</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>測定 6</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>測定 7</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 除去方法 <ul style="list-style-type: none"> ※改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ※選別化・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 <ul style="list-style-type: none"> ※埋立処分(管理型最終処分場) ※中間処理(消滅施設又は無害化処理施設) ○石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の除去 除去対象範囲 除去方法 <ul style="list-style-type: none"> ○燃焼ライニング材 破砕して除去・手ばらし ○超高压洗浄工法 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 <ul style="list-style-type: none"> ※選別化・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 <ul style="list-style-type: none"> ○埋立処分(管理型最終処分場) ※中間処理(消滅施設又は無害化処理施設) 石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種)の除去 除去対象範囲 除去方法 <ul style="list-style-type: none"> ○燃焼ライニング材 隔離養生(負担不要)方法 足掃 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 <ul style="list-style-type: none"> 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(消滅施設又は無害化処理施設) 石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の除去 除去対象範囲 除去方法 <ul style="list-style-type: none"> ○燃焼ライニング材 除去した石綿含有成形板の処分 <ul style="list-style-type: none"> 石綿含有せつこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(消滅施設又は無害化処理施設) 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去 除去対象範囲 除去方法 養生方法 除去した石綿含有仕上塗材の処分 <ul style="list-style-type: none"> 埋立処分(安定型最終処分場) 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(消滅施設又は無害化処理施設) 	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 3 点	測定 2		調査対象室外部の付近	計 3 点	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 3 点	測定 4		セキユリアライナー出入口	計 3 点	測定 5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計 1 点	測定 6	処理作業後	処理作業室内	計 4 点	測定 7		○施工区画周辺	計 4 点	測定 8	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 1 点	測定 9	処理作業後 (シート除去後 1週間以降)	調査対象室外部の付近	計 1 点	測定名称	測定方法	測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、	測定 5	繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定名称	メンブレンフィルタ	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	測定 4		5	30	測定 5	25	5	30	測定 6	47	10	120	測定 7	47	10	240	<ul style="list-style-type: none"> ・ 断熱アスファルト防水改修工事 [9.2-3]
		測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)																																																																
測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 3 点																																																																		
測定 2		調査対象室外部の付近	計 3 点																																																																		
測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 3 点																																																																		
測定 4		セキユリアライナー出入口	計 3 点																																																																		
測定 5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計 1 点																																																																		
測定 6	処理作業後	処理作業室内	計 4 点																																																																		
測定 7		○施工区画周辺	計 4 点																																																																		
測定 8	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 1 点																																																																		
測定 9	処理作業後 (シート除去後 1週間以降)	調査対象室外部の付近	計 1 点																																																																		
測定名称	測定方法																																																																				
測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、																																																																				
測定 5	繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																				
測定名称	メンブレンフィルタ	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																		
測定 4		5	30																																																																		
測定 5	25	5	30																																																																		
測定 6	47	10	120																																																																		
測定 7	47	10	240																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外断熱改修工事 [9.2.1~4] <p>断熱材</p> <p>断熱材の種類</p> <p>断熱材の厚さ(mm)</p> <p>施工箇所</p> <p>○ 図示による</p> <p>ホルムアルデヒド放数量 ※☆☆☆☆</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼材</p> <p>改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事・鋼材による。</p> <p>塗料</p> <p>改修特記仕様書第3章・アルミニウム製塗料による。</p> <p>既存外壁の処理</p> <p>既存外壁土材の撤去</p> <p>行う・行わない</p> <p>下地面の清掃、行わない</p> <p>行う</p> <p>欠損部の改修工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による <p>工法</p> <p>1章 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>不陸等の下地調整</p> <p>断熱材の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・断熱材製造所の仕様による <p>外装材の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外装材製造所の仕様による <p>通気層の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有 (mm) ・無 <p>外装材の外壁への取付け</p> <p>図示による</p> <p>塗料の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製塗料による 	種類	防火性能	備考				<ul style="list-style-type: none"> ・ 断熱・防露改修工事 [9.3.2~4] <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量</p> <p>開口部等補修のための張付け材の接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※☆☆☆☆</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 <ul style="list-style-type: none"> 種類 厚さ(mm) 施工場所 ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 <ul style="list-style-type: none"> A種1 A種H 吹付け厚さ(mm) <ul style="list-style-type: none"> 25 30 施工箇所 ○ 図示による ・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 <ul style="list-style-type: none"> 種類 厚さ(mm) 断熱材にせつこうボード等を張り付けたパネル 材質 厚さ (mm) 張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋上緑化改修工事 [9.4.2~4] <p>植栽基盤及び材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上緑化軽量システム <p>芝及び地被類の種類等</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>工法</p> <p>1章 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力対応した工法</p> <p>かん水装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置する(種類) <p>既存保護層の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う・行わない <p>新植した芝及び地被類の結植の期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ※引張しの日から1年 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 透水性アスファルト舗装改修工事 <p>適用範囲：歩道 [9.5.2~5.9]</p> <p>既存舗装の撤去及び再利利用</p> <p>※図示による</p> <p>路床</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生フラッシュヤラン [9] ・クラッシュラン</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・砂</td> <td>・図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う・行わない <p>路床安定処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用しない <p>安定処理の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・置き換え工法 ・安定処理工法 <p>路床安定処理用添加材料</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通ポルトランドセメント ・硫酸セメント3種 [9] ・フライアッシュセメント8種 [9] ・生石灰(特号・1号) ・消石灰(特号・1号) <p>添加量</p> <p>kg/m³ (目標DR 3以上)</p> <p>目標DRを満足する添加量の確認方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定処理土のDR試験 <ul style="list-style-type: none"> ・ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m²以上 厚さ 0.5~1.0 引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 1.5×10⁻¹ cm/sec以上 <p>試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路床土の支持力比 (DR) 試験 ・行う・行わない 路床締固め度の試験 ・行う・行わない 現場DR試験 ・行う・行わない <p>路盤</p> <p>路盤の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による <p>路盤材料(改修標準仕様書第9.7.3による種別)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシュラン [9] ・再生粒度調整砕石 [9] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [9] ・粒度調整鉄鋼スラグ [9] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [9] <p>舗装の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による <p>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う・行わない <p>舗装の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著しい不陸がないもの 	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示による	・凍上抑制層	・再生フラッシュヤラン [9] ・クラッシュラン	・図示による	・フィルター層	・砂	・図示による	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ○騒音・粉じん等の対策 [2.1.3] ○既存部分の養生 [2.3.1] ・仮設間仕切り [2.3.2][表 2.3.1] ○施工条件 ○解体方法 <p>1) 養生方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既存部分 養生方法 (○図示 ※ビニルシート、合板) ・既存家具、既存設備等 養生方法 (・ 遮ビニルシート等) ・既存ブラインド、カーテン等 養生方法 (・ ビニルシート等) ・保管場所 (・ 図示) ・固定された備品、机、ロッカー等の移動 (・ 図示) <p>2) 既存部分に汚染又は損傷を及ぼすおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を及ぼした場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。</p> <p>2) 仮設間仕切りの種別と材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>・せつこうボード</td> <td>・なし</td> <td>・ガラスウール</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・B種</td> <td>・種類()</td> <td>・なし</td> <td>・厚さ (mm)</td> </tr> <tr> <td>・厚さ(mm ※9.5mm)</td> <td>・片面</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・C種</td> <td>・材質()</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・厚さ(mm ※9mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 仮設間仕切りに設ける仮設部の材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>設置箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※木製</td> <td></td> <td>・なし</td> <td>・天井</td> </tr> <tr> <td>※合板張り程度</td> <td></td> <td>・片面</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>○養生方法</p> <p>解体に際しては「騒音規制法」、「振動規制法」、「大気汚染防止法」の法令等に従うほか、公害防止に適切な工法及び養生方法により作業を行う。</p> <p>また、作業中に発生する粉じんについては、散水その他適切な養生を行い、粉じん防止に努める。</p> <p>主として用いる工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○圧砕工法 ○大気ブローカー工法 ○ハンドブローカー工法 <p>使用してはならない解体工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○爆薬工法 ○スチールボール工法 	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	・A種	・せつこうボード	・なし	・ガラスウール	・B種	・種類()	・なし	・厚さ (mm)	・厚さ(mm ※9.5mm)	・片面		・C種	・材質()			・厚さ(mm ※9mm)			※C種	防炎シート			材質	仕上げ	塗装	設置箇所	※木製		・なし	・天井	※合板張り程度		・片面	・図示									
種類	防火性能	備考																																																																			
種別	材料	厚さ(mm)																																																																			
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示による																																																																			
・凍上抑制層	・再生フラッシュヤラン [9] ・クラッシュラン	・図示による																																																																			
・フィルター層	・砂	・図示による																																																																			
種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填																																																																		
・A種	・せつこうボード	・なし	・ガラスウール																																																																		
・B種	・種類()	・なし	・厚さ (mm)																																																																		
	・厚さ(mm ※9.5mm)	・片面																																																																			
・C種	・材質()																																																																				
	・厚さ(mm ※9mm)																																																																				
※C種	防炎シート																																																																				
材質	仕上げ	塗装	設置箇所																																																																		
※木製		・なし	・天井																																																																		
※合板張り程度		・片面	・図示																																																																		

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 國武建築設計事務所	<table border="1"> <tr> <td colspan="5">独立行政法人 国立高等専門学校機構</td> </tr> <tr> <td colspan="5">久留米工業高等専門学校</td> </tr> <tr> <td>事務部長</td> <td>総務部長</td> <td>総務部長補佐</td> <td>係長</td> <td>担当</td> </tr> </table>	独立行政法人 国立高等専門学校機構					久留米工業高等専門学校					事務部長	総務部長	総務部長補佐	係長	担当	図面番号
独立行政法人 国立高等専門学校機構																							
久留米工業高等専門学校																							
事務部長	総務部長	総務部長補佐	係長	担当																			
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高専煙突・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高専煙突・ボイラー室一部撤去工事	改修特記仕様書(3)	A1=N.S A3=N.S	久留米市通町105番地の24 1 級建築士登録 第181138号 Phone 0942-33-1615 (代) 横 溝 浩 一	特A-03																



夏期主風向

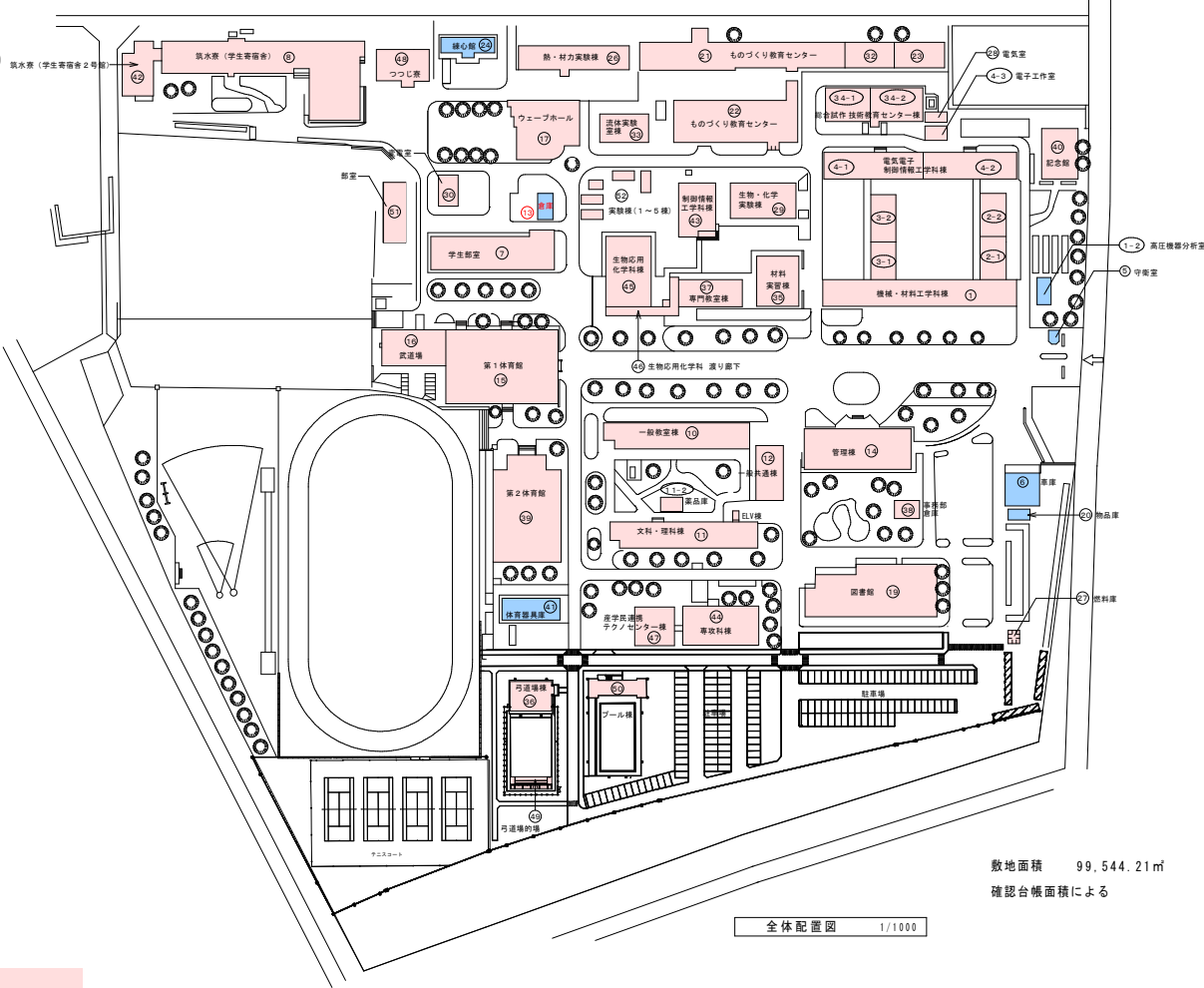
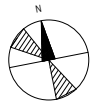


0 50m

本工事対象建物を示す

配置図 1/1000

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
						事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高等煙突・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高等煙突・ボイラー室一部撤去工事	全体配置図・案内図	A1=1/1000・N.S A3=1/2000・N.S	株式会社 國武建築設計事務所 久留米市通町105番地の24 1級建築士登録 第181138号 Phone 0942-33-1615 (代) 横溝 富一					A-01



敷地面積 99,544.21㎡
確認台帳面積による

全体配置図 1/1000

建築確認台帳記載事項証明書がある建物を示す。

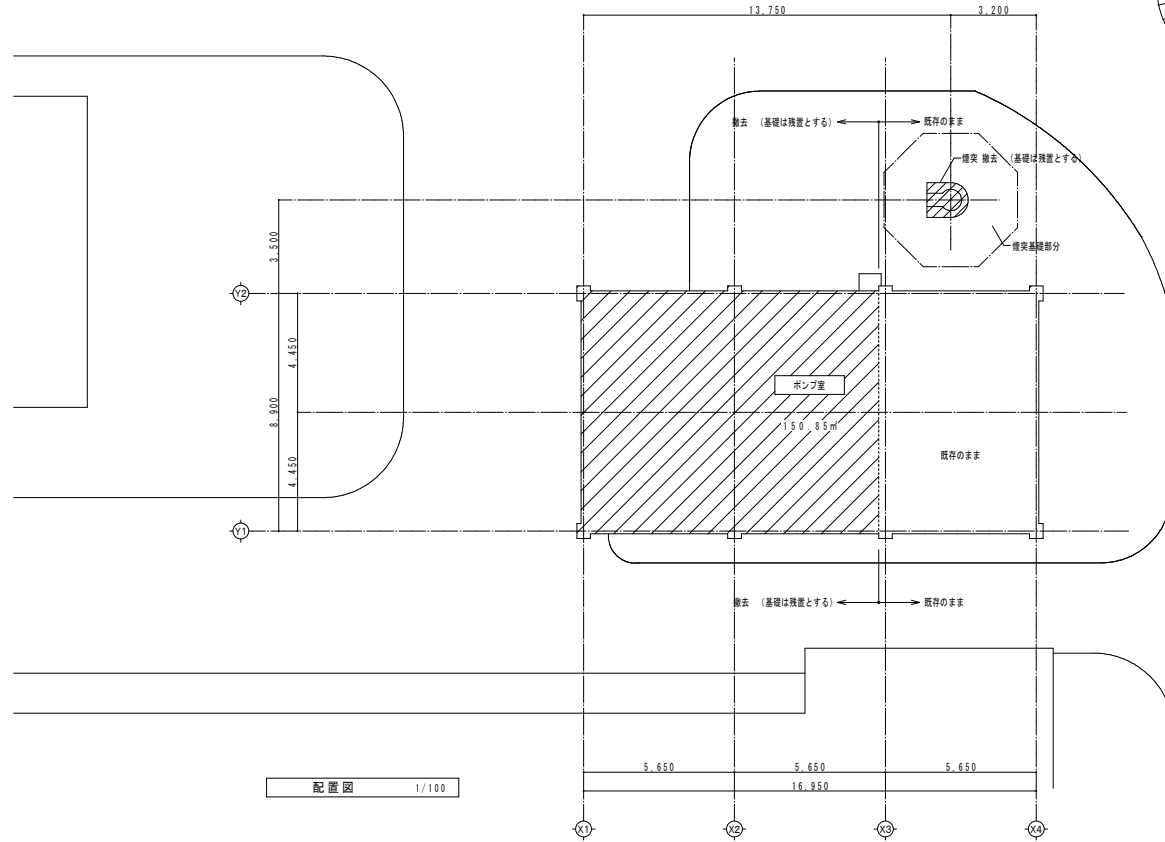
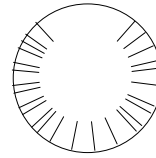
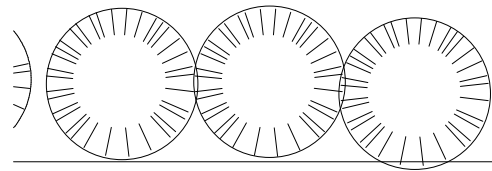
建築確認台帳記載事項証明書が無い建物を示す。

延べ床面積 (㎡)		建築面積 (㎡)	
29,447.15	676.96	14,560.57	691.84
計	30,124.11		15,252.41

建築確認台帳記載事項証明書				既存面積表	
種番号	種名称	確認申請・検査済証 番号	施工状況報告書による	延べ床面積 (㎡)	建築面積 (㎡)
5	守衛室	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号	施工状況報告書による	19.57	21.85
6	車庫	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号	施工状況報告書による	122.64	122.64
20	物品庫	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号	施工状況報告書による	32.00	32.80
41	体育倉庫棟	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号	施工状況報告書による	180.40	180.40
13	倉庫	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号	施工状況報告書による	50.28	50.28
24	緑心館	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号	施工状況報告書による	223.07	231.07
1-2	高圧機器分析室	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号	施工状況報告書による	49.00	52.80
計				676.96	691.84

建築確認台帳記載事項証明書				既存面積表	
種番号	種名称	確認申請・検査済証 番号	施工状況報告書による	延べ床面積 (㎡)	建築面積 (㎡)
1	機械・材料工学科棟	確認年月日・確認番号 昭和37年9月4日 S37計認建築本庁0939号 完了検査年月日・確認番号		2,623.00	1,253.08
7	学生部室 (旧食堂)	確認年月日・確認番号 昭和37年10月5日 S37計認建築本庁1007号 完了検査年月日・確認番号		416.52	416.52
34-1	電気電子制御機械工学科棟	確認年月日・確認番号 昭和38年10月4日 S38計認建築本庁0978号 完了検査年月日・確認番号		1,232.00	664.19
34-2	電気電子制御機械工学科棟	確認年月日・確認番号 昭和38年10月4日 S38計認建築本庁0978号 完了検査年月日・確認番号		40.00	40.00
35	電気電子制御機械工学科棟	確認年月日・確認番号 昭和39年11月14日 S39計認建築本庁0858号 完了検査年月日・確認番号		162.00	162.00
36	電気電子制御機械工学科棟	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号		1,386.00	144.00
9	筑水寮 (学生寄宿舎)	確認年月日・確認番号 昭和41年2月20日 S41計認建築本庁0976号 完了検査年月日・確認番号		2,990.45	1,121.73
10	一般教養棟	確認年月日・確認番号 昭和42年10月26日 S42計認建築本庁0958号 完了検査年月日・確認番号		1,437.00	476.29
11	文庫・理科棟	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号		1,484.00	501.87
12	薬品庫	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号		32.00	32.00
13	一般共通棟	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号		419.00	249.46
14	管理棟	確認年月日・確認番号 昭和43年9月24日 S43計認建築本庁0840号 完了検査年月日・確認番号		1,155.00	583.50
15	第1体育館	確認年月日・確認番号 昭和44年10月29日 S44計認建築本庁1148号 完了検査年月日・確認番号		1,013.00	1,012.50
16	武道場	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号		450.00	150.00
17	図書館	確認年月日・確認番号 昭和44年12月3日 S44計認建築本庁1301号 完了検査年月日・確認番号		1,702.88	846.44
33	ものづくり教育センター	確認年月日・確認番号 昭和45年9月25日 S45計認建築本庁1057号 完了検査年月日・確認番号		989.06	494.53
23	熱・材料実験棟	確認年月日・確認番号 昭和45年9月25日 S45計認建築本庁1057号 完了検査年月日・確認番号		600.92	359.95
27	燃料庫	確認年月日・確認番号 昭和47年3月28日 S47計認建築本庁118号 完了検査年月日・確認番号		20.00	20.00
28	電気室	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号		32.00	32.00
29	生物・化学実験棟	確認年月日・確認番号 昭和47年10月28日 S47計認建築本庁0978号 完了検査年月日・確認番号		300.00	300.00
30	実習室	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号		79.00	79.20
32	ものづくり教育センター	確認年月日・確認番号 昭和48年1月31日 S47計認建築本庁038号 完了検査年月日・確認番号		118.80	118.80
33	流体実験棟	確認年月日・確認番号 昭和48年12月19日 S48計認建築本庁018号 完了検査年月日・確認番号		264.00	175.00
34-1	総合試作技術教育センター棟	確認年月日・確認番号 昭和50年12月26日 S50計認建築本庁096号 完了検査年月日・確認番号		198.00	198.00
34-2	総合試作技術教育センター棟	確認年月日・確認番号 昭和51年11月12日 S53計認建築本庁030号 完了検査年月日・確認番号		240.00	240.00
35	材料実習棟	確認年月日・確認番号 昭和51年9月31日 S52計認建築本庁1180号 完了検査年月日・確認番号		405.00	281.00
37	専門教養棟	確認年月日・確認番号 昭和55年2月6日 S54計認建築本庁1740号 完了検査年月日・確認番号		663.00	239.00
38	第2体育館	確認年月日・確認番号 昭和56年12月25日 S56計認建築本庁1114号 完了検査年月日・確認番号		880.00	880.00
39	事務部倉庫	確認年月日・確認番号 昭和57年1月13日 S56計認建築本庁027号 完了検査年月日・確認番号		54.00	54.00
40	記念館	確認年月日・確認番号 昭和57年9月11日 S57計認建築本庁0111号 完了検査年月日・確認番号		252.45	258.93
18	第1体育館 (一部増築)	確認年月日・確認番号 昭和57年11月4日 S57計認建築本庁022号 完了検査年月日・確認番号		108.00	108.00
42	筑水寮 (学生寄宿舎2号館)	確認年月日・確認番号 昭和60年11月7日 S60計認建築本庁久留米市4020号 完了検査年月日・確認番号		781.16	206.47
43	制御機械工学科棟	確認年月日・確認番号 平成5年1月18日 H04計認建築本庁久留米市4034号 完了検査年月日・確認番号		793.14	277.66
44	専攻科棟	確認年月日・確認番号 平成6年2月6日 H05計認建築本庁久留米市4049号 完了検査年月日・確認番号		1,201.61	405.10
45	生物応用化学科棟	確認年月日・確認番号 平成11年7月19日 H11計認建築本庁久留米市00016号 完了検査年月日・確認番号		1,605.00	423.06
17	ウェーブホール (食堂)	確認年月日・確認番号 平成13年7月3日 H13計認建築本庁久留米市00012号 完了検査年月日・確認番号		519.09	541.00
11	文庫・理科棟 (E.L.V.増築)	確認年月日・確認番号 平成13年11月19日 H13計認建築本庁久留米市00010号 完了検査年月日・確認番号		100.48	28.70
46	生物応用科学 演習室	確認年月日・確認番号 平成14年11月12日 H14計認建築本庁久留米市00016号 完了検査年月日・確認番号		521.31	139.84
17	学生実習棟 テクノセンター棟	確認年月日・確認番号 平成21年6月25日 H21計認建築本庁久留米市00009号 完了検査年月日・確認番号		413.25	209.93
11	つづじ寮	確認年月日・確認番号 平成22年2月25日 H22計認建築本庁久留米市00021号 完了検査年月日・確認番号		578.04	237.32
10	巧運場	確認年月日・確認番号 平成23年9月13日 H23計認建築本庁久留米市00010号 完了検査年月日・確認番号		171.00	57.51
10	巧運場	確認年月日・確認番号 平成24年3月29日 H23計認建築本庁久留米市00027号 完了検査年月日・確認番号		67.00	209.00
10	巧運場	確認年月日・確認番号 平成24年2月1日 H30計認建築本庁久留米市00016号 完了検査年月日・確認番号		289.00	193.00
11	部室	確認年月日・確認番号 施工状況報告書 令和元年11月5日 H31計認建築本庁久留米市00006号		193.00	193.00
32	実験棟 (1~5)	確認年月日・確認番号 完了検査年月日・確認番号		136.99	136.99
計				29,447.15	14,560.57

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 國武建築設計事務所 久留米市通町105番地の24 1級建築士登録第181138号 Phone 0942-33-1615 (代) 横 澤 昌 一	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				図面番号
							事務部長	総務部長	総務部長補佐	係長	
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高等専攻・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高等専攻・ボイラー室一部撤去工事	全体面積表	A1=1/1000 A3=1/2000						A-02

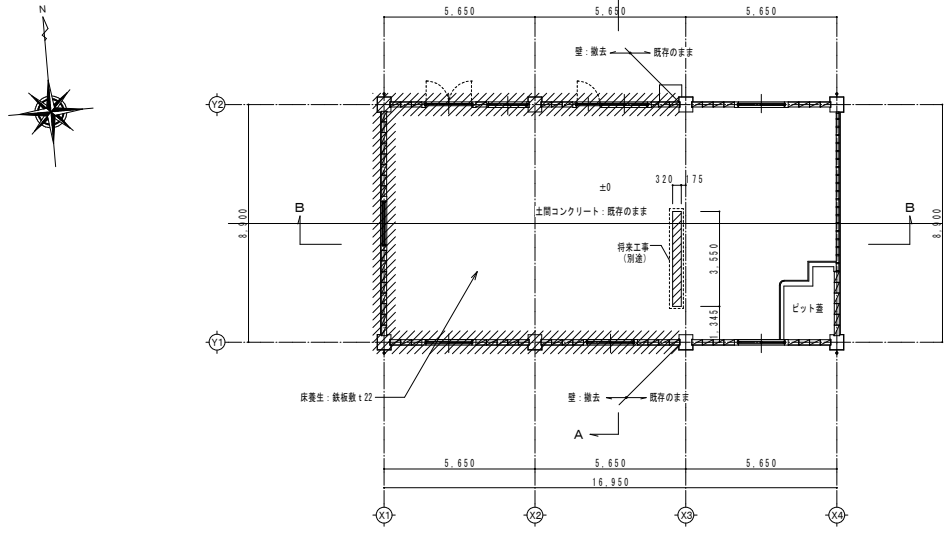


配置図 1/100

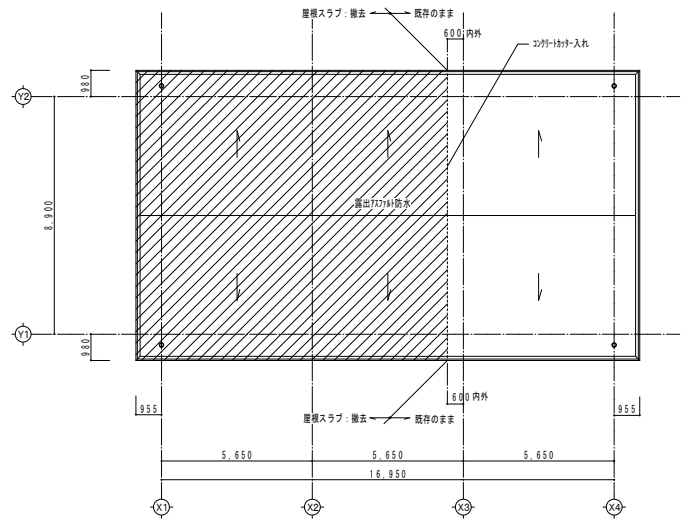
撤去範囲を示す

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	独立行政法人 国立高等専門学校機構					図面番号	
						久留米工業高等専門学校						
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高等煙突・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高等煙突・ボイラー室一部撤去工事	配置図	A1=1/50 A3=1/100	株式会社 國武建築設計事務所	事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	A-03
						久留米市通町105番地の24	1級建築士登録 第181138号		〒816-0201 久留米市 横溝 1-1-1		Phone 0942-33-1615 (代)	横溝 富一

撤去前

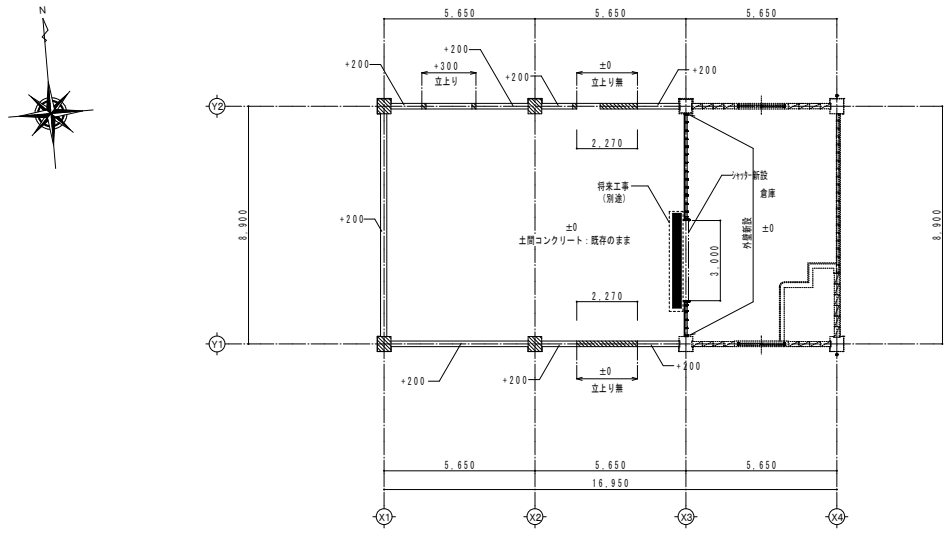


平面図 1/100 撤去範囲を示す

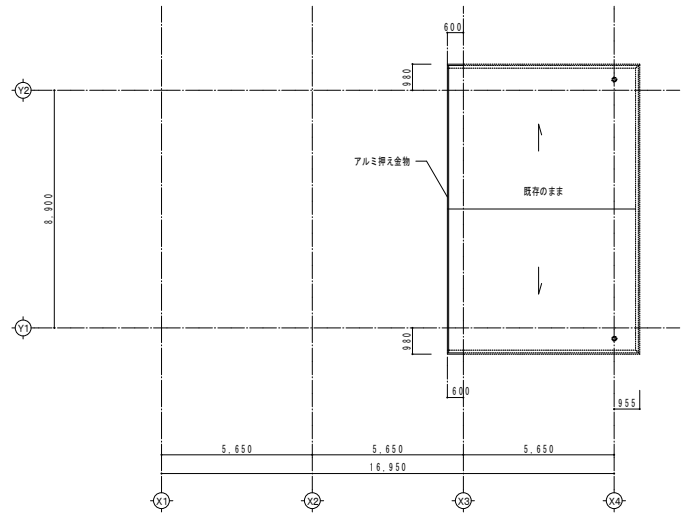


屋根伏図 1/100 撤去範囲を示す

撤去後

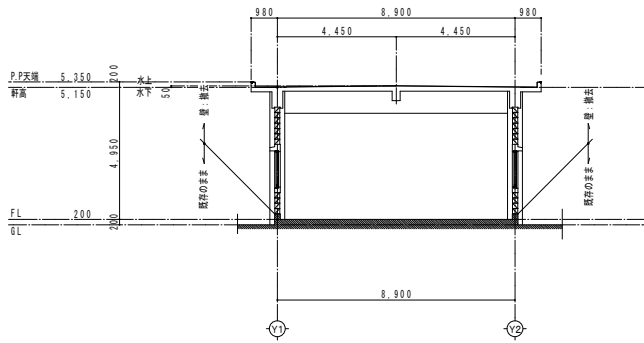


平面図 1/100 撤去断面：モルタル補修

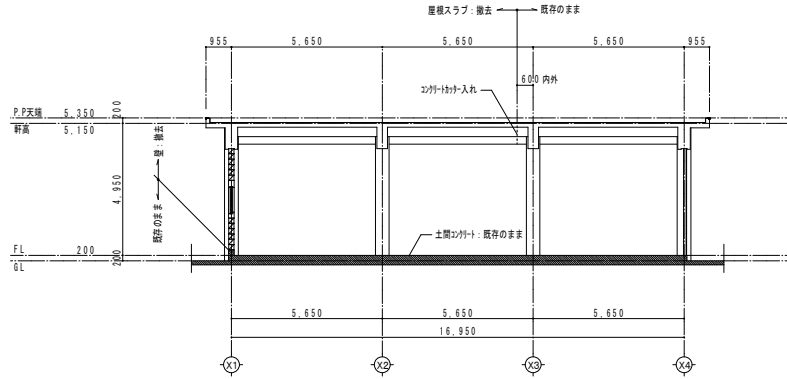


屋根伏図 1/100

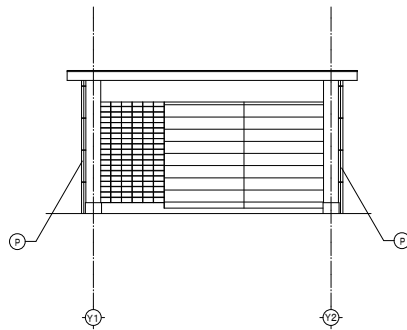
年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	独立行政法人 国立高等専門学校機構					図面番号	
						久留米工業高等専門学校						
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高等専攻・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高等専攻・ボイラー室一部撤去工事	撤去前・後 平面図・屋根伏図	A1=1/100 A3=1/200	株式会社 國武建築設計事務所	事務部長	総務部長	総務課長補佐	係長	担当	A-04
						久留米市通町105番地の24 1級建築士登録 第181138号 Phone 0942-33-1615 (代) 横溝 富一						



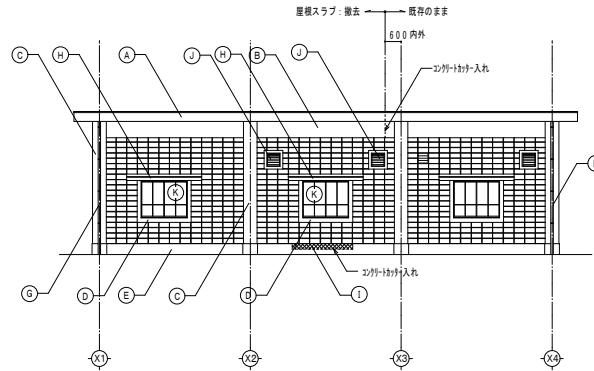
A-A 断面図 1/100



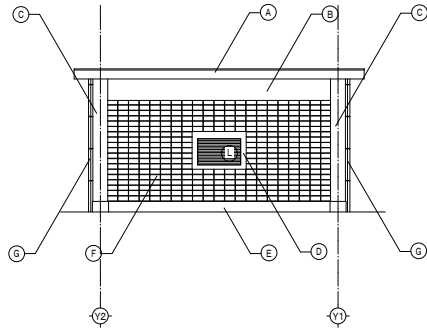
B-B 断面図 1/100



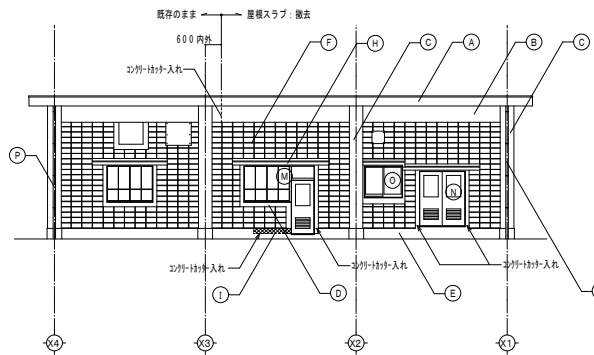
東立面図 1/100



南立面図 1/100



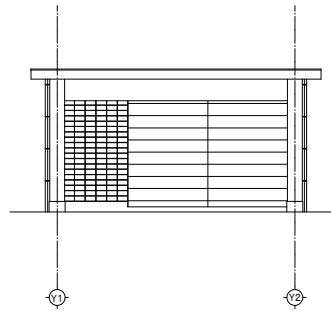
西立面図 1/100



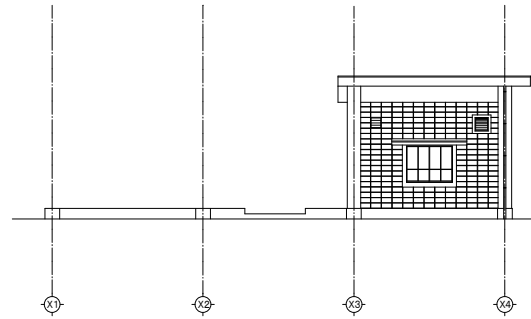
北立面図 1/100

凡	例	撤去	石綿含有
A	パラベット: コンクリート打放し, 外装薄塗材E吹付	○	無
B	梁: コンクリート打放し, 外装薄塗材E吹付	○	無
C	柱: コンクリート打放し, 外装薄塗材E吹付	○	無
D	開口補強: モルタル金ゴ子下地コンクリート	○	
E	巾木: モルタル金ゴ子下地コンクリート	○	
F	外壁: 化粧CB板 \pm 190, 外装薄塗材E吹付	○	無
G	屋根: VP ϕ 75, 撥み金物共	○	
H	床: モルタル金ゴ子下地コンクリート	○	
I	巾木: モルタル金ゴ子下地コンクリート	○	
J	換気用フード: 450角SUS	○	
K	スチール製引違付窓: W1, 670xH1, 300 ϕ 32 \pm 6.8 枠共	○	
L	スチール製ガラス窓: W1, 570xH900 枠共	○	
M	スチール製引違付窓: W1, 670xH1, 300 ϕ 32 \pm 6.8 枠共	○	
N	スチール製引違付扉: W820xH2, 525 ϕ 32 \pm 6.8 枠共	○	
O	スチール製引違付扉: W1, 670xH2, 000 ϕ 32 \pm 6.8 枠共	○	
P	アルミ製引違付扉: W1, 400xH1, 100 ϕ 32 \pm 6.8 枠共	○	
Q	屋根: VP ϕ 75		
R			
S			
T			

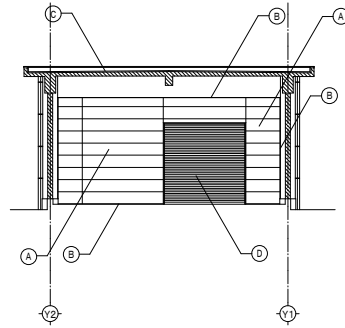
年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 國武建築設計事務所 久留米市通町105番地の24 1 級建築士登録 第181138号 Phone 0942-33-1615 (代) 横 溝 浩 一	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				図面番号
							事務部長	総務部長	総務課長補佐	係長	
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高専煙突・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高専煙突・ボイラー室一部撤去工事	撤去前 立面図・断面図	A1=1/100 A3=1/200						A-05



東 立面図 1/100

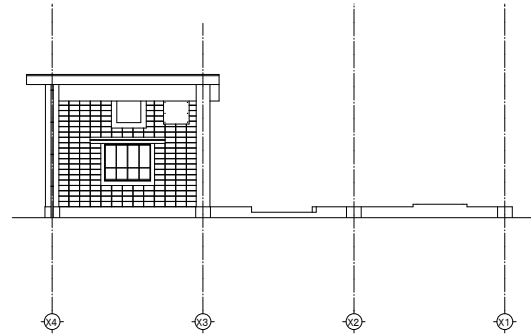


南 立面図 1/100



西 立面図 1/100

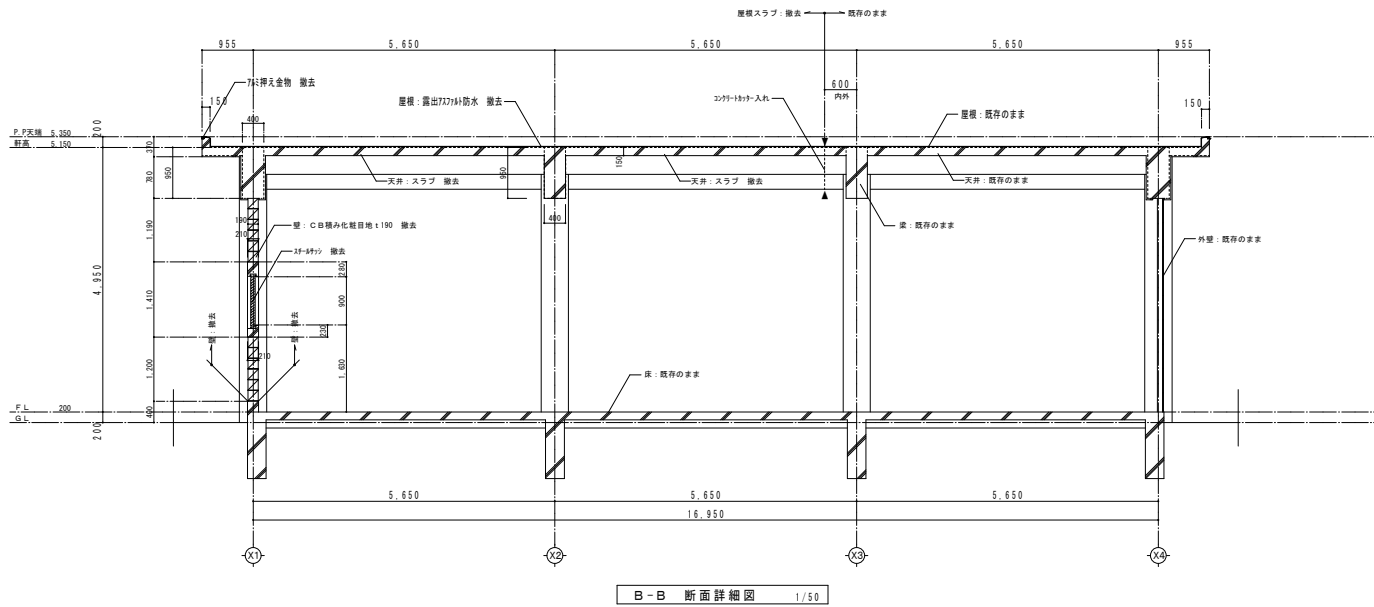
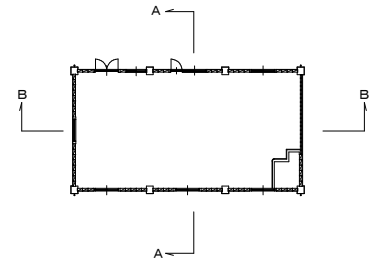
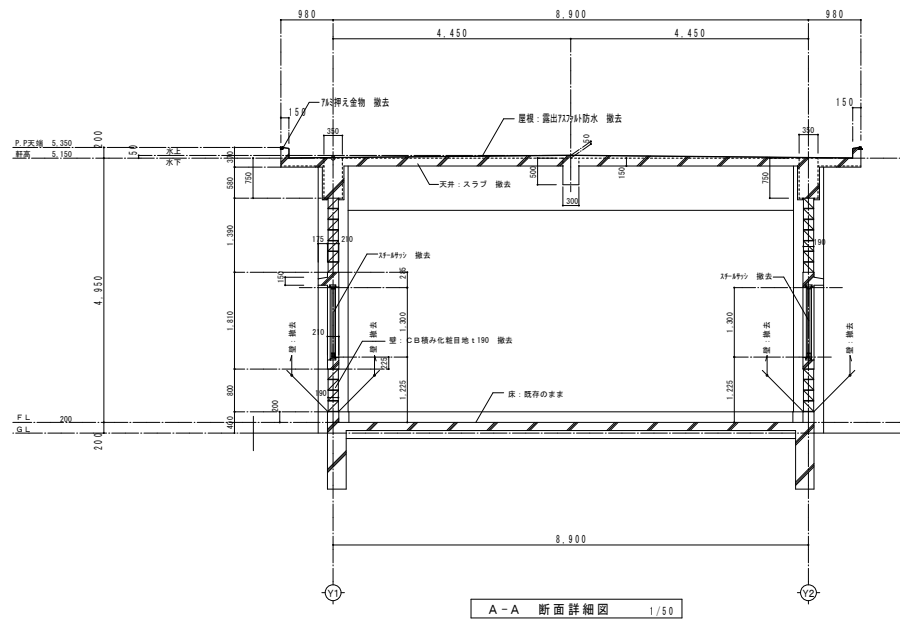
ハッチ部の鉄板切断面は構止の塗装とする



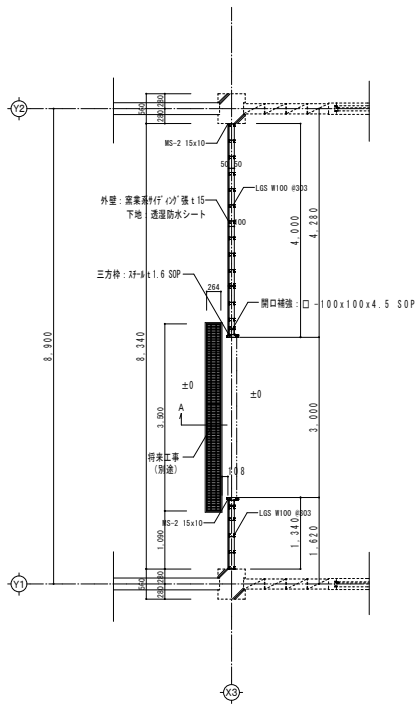
北 立面図 1/100

凡 例	
(A)	外壁：窓枠系サイディング強t15 下地透選シート
(B)	西面シーリング：WS-2 15x10
(C)	屋根押入金物：アルミ製 40x65 t1.1
(D)	軽量防火シャッター：バランスシャッター W3,000xH3,000 三方枠：NF-H t1.6 165x30 SOP ガイドレール：SUS t1.6 風 スラット：カラー鋼板 t0.8 座板：ステンレス鋼板 ケース：スチール製 SOP シリンダー兼付

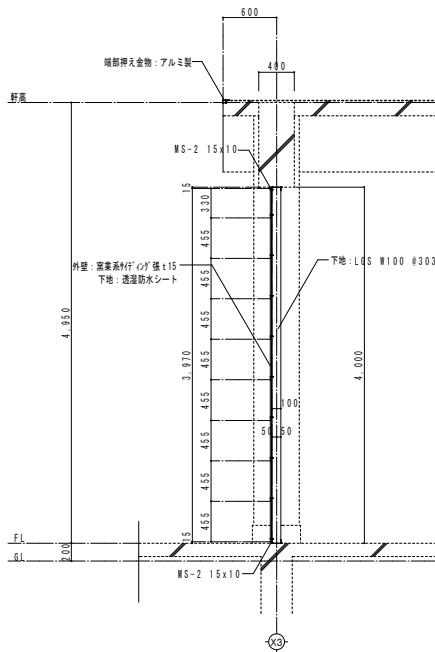
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	独立行政法人 国立高等専門学校機構					図面番号
						久留米工業高等専門学校					
						事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高等煙突・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高等煙突・ボイラー室一部撤去工事	撤去後 立面図	A1=1/100 A3=1/200	株式会社 國武建築設計事務所 久留米市通町105番地の24 1級建築士登録 第181138号 Phone 0942-33-1615 (代) 横 溝 富 一					A-06



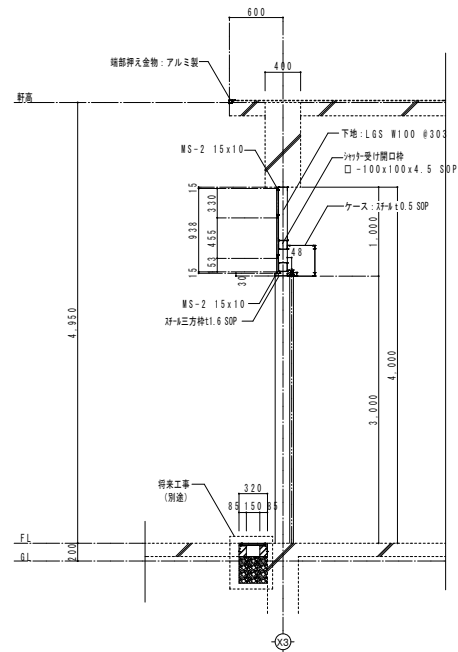
年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	独立行政法人 国立高等専門学校機構					図面番号
						事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高専煙突・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高専煙突・ボイラー室一部撤去工事	撤去前 断面詳細図	A1=1/30 A3=1/60	株式会社 國武建築設計事務所 久留米市通町105番地の24 1級建築士登録 第181138号 Phone 0942-33-1615 (代) 横溝 富一					A-07



X 3 通り 平面詳細図 1/50

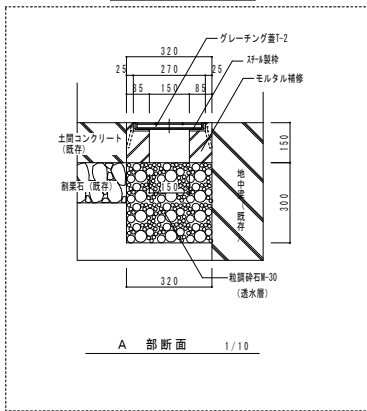


X 3 通り 断面詳細図 1/30
外壁部

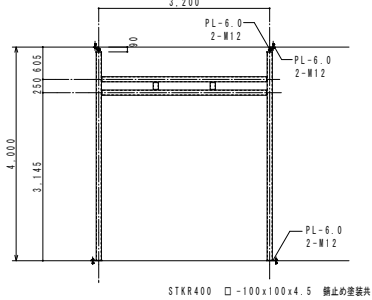


X 3 通り 断面詳細図 1/30
シャッター部

将来工事 (別途)

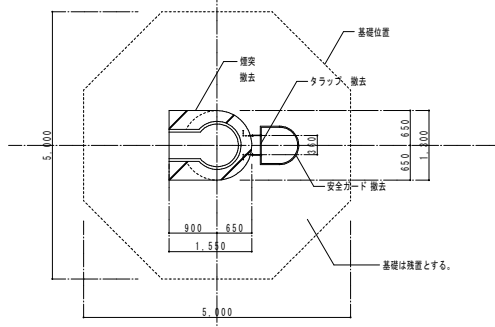


A 部断面 1/10

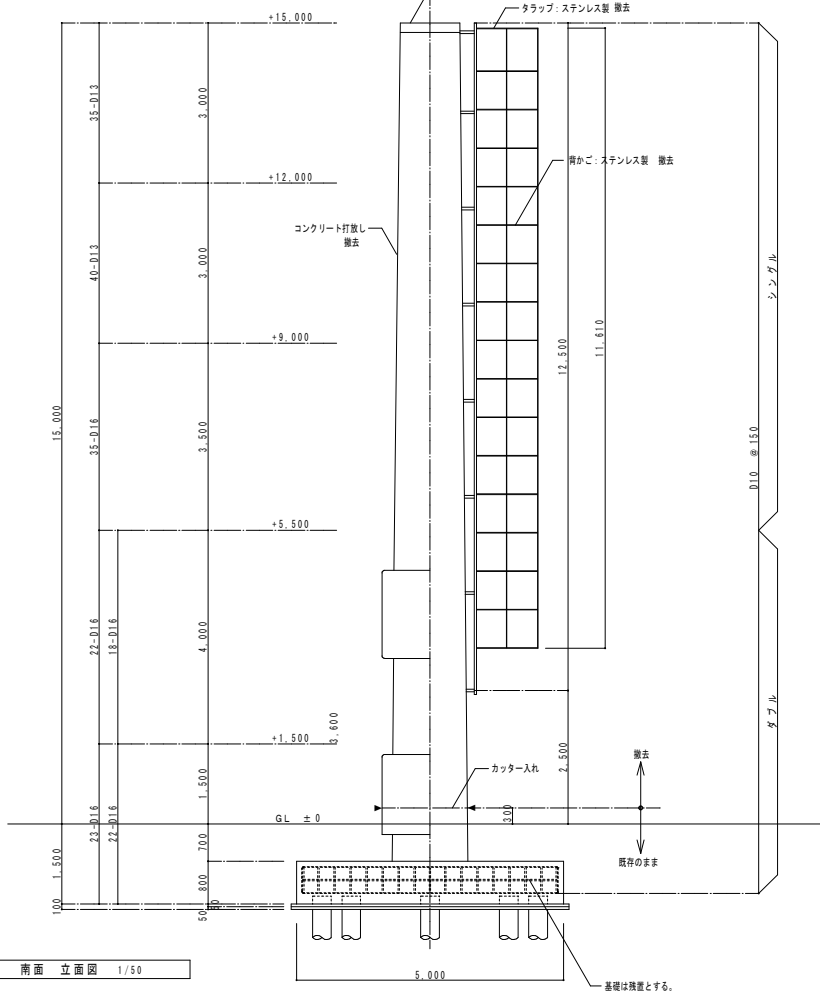


シャッター受け開口枠下地 1/50

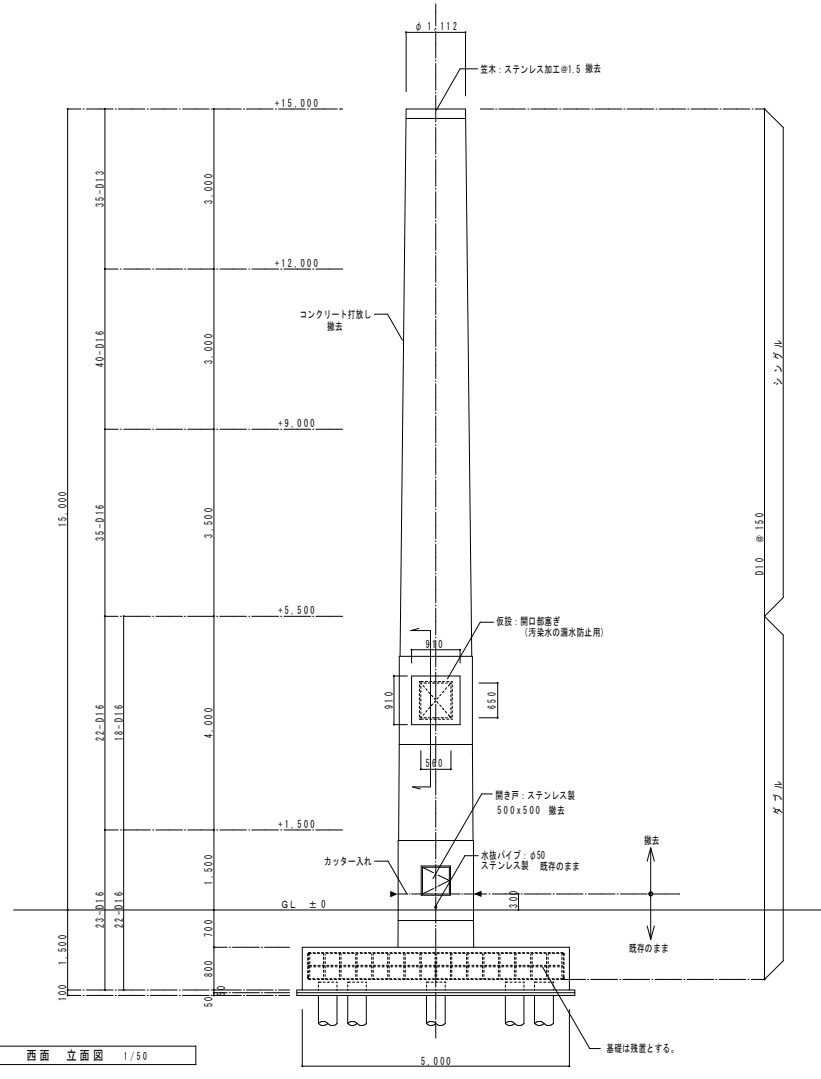
年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
						事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高等専理突・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高等専理突・ボイラー室一部撤去工事	撤去後 平面詳細図・断面詳細図	A1=1/10・30・50 A3=1/20・60・100	株式会社 國武建築設計事務所 久留米市通町105番地の24 1級建築士登録 第181138号 Phone 0942-33-1615 (代) 横溝 富一					A-08



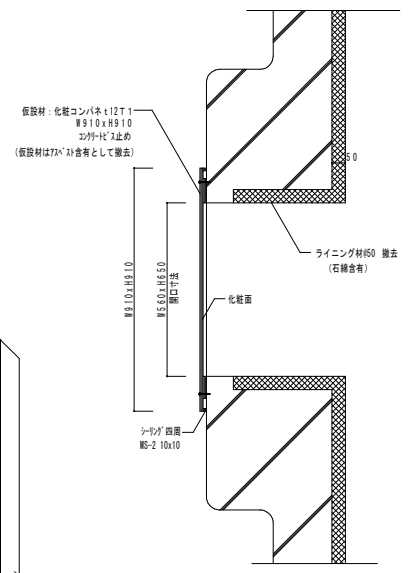
平面図 1/50



南面立面図 1/50

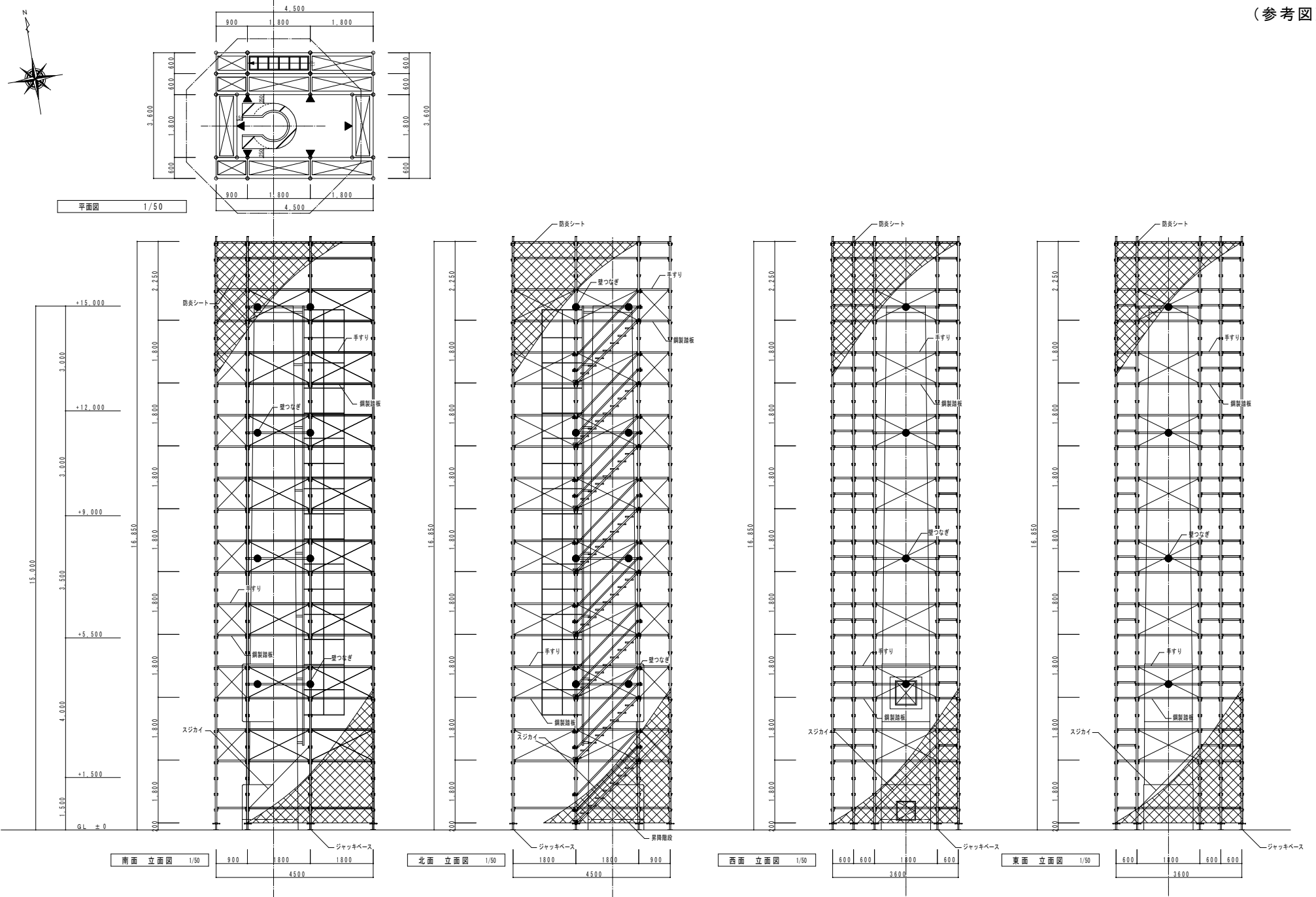


西面立面図 1/50

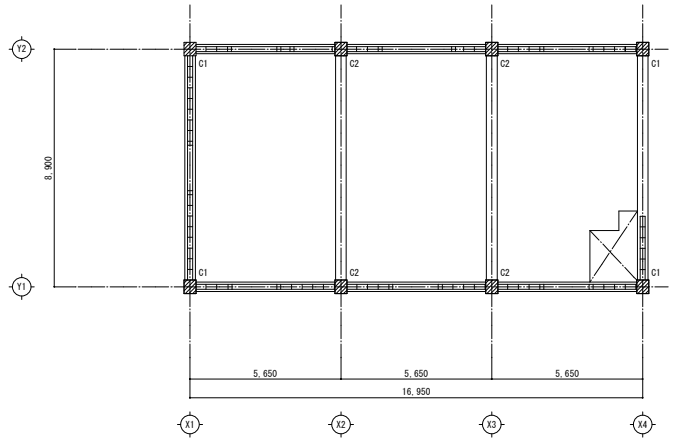


矢視断面図 1/10

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 國武建築設計事務所 久留米市通町105番地の24 1級建築士登録 第181138号 Phone 0942-33-1615 (代) 横溝 富一	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				図面番号
							事務部長	総務部長	総務課長補佐	係長	
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高専煙突・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高専煙突・ボイラー室一部撤去工事	煙突 撤去前 平面図・立面図	A1=1/50 A3=1/100						A-09

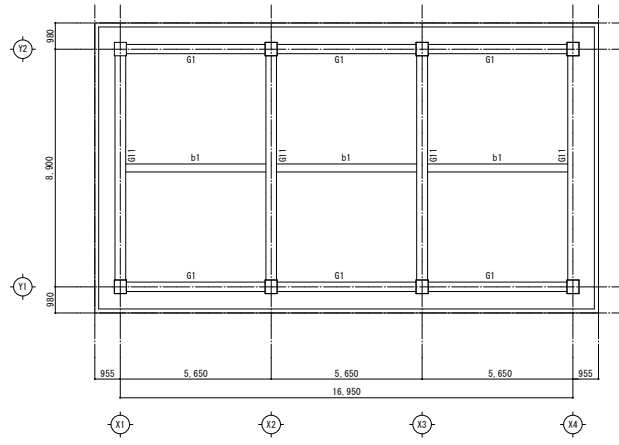


年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 國武建築設計事務所	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校	図面番号
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高等煙突・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高等煙突・ボイラー室一部撤去工事	煙突撤去用足場図 (参考図)	A1=1/50 A3=1/100	久留米市通町105番地の24 1級建築士登録 第181138号 Phone 0942-33-1615 (代) 横 澤 富 一	事務部長 総務部長 総務課長補佐 係長 担当	A-10



1階伏図 1/100

- 特記なき限り下記による
1. 1FL=設計図-200とする
 2. 立上り壁はW200とする
 3. 印はCB190とする
 4. 1FLより下部は推定とする



R階伏図 1/100

- 特記なき限り下記による
1. 大梁天端は最高高さ+100とする
 2. スラブ天端は水配による

柱リスト 1/50

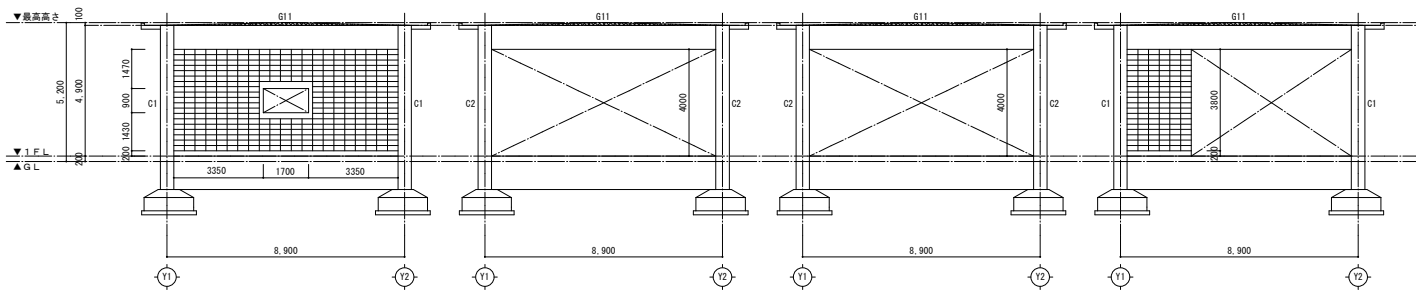
階	符号	C1	C2
1階	断面		
	主筋	4-D19 + 4-D22	2-D19 + 8-D22
	HOOP	□-9φ#250	□-9φ#250
	備考		

梁リスト

階	符号	G1	G11	b1
R階		350×750	400×950	300×500

壁リスト 1/50

符号	W200	CB190
断面		
縦筋	9φ#250ダブル	9φ#400シングル
横筋	9φ#250ダブル	9φ#400シングル
開口	縦筋	-
補強筋	斜め筋	-
備考	壁筋の種・間隔・本数は想定とする	

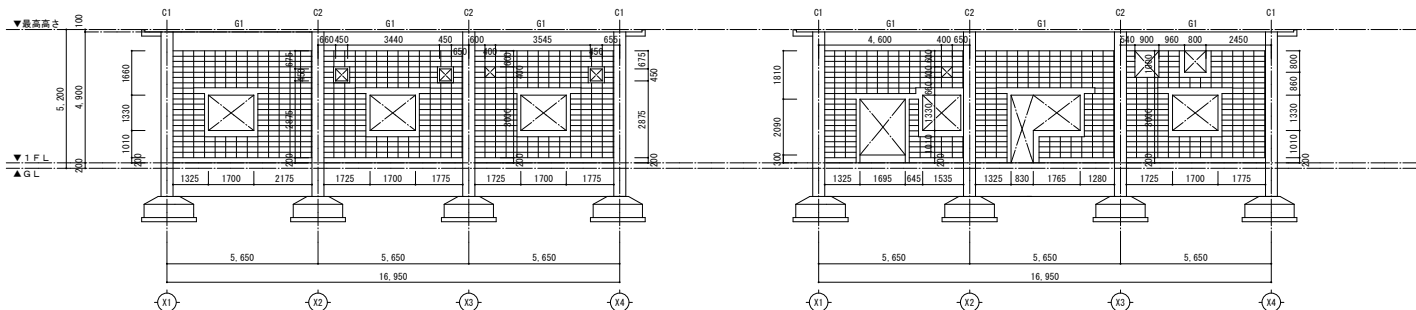


X1通り軸組図 1/100

X2通り軸組図 1/100

X3通り軸組図 1/100

X4通り軸組図 1/100

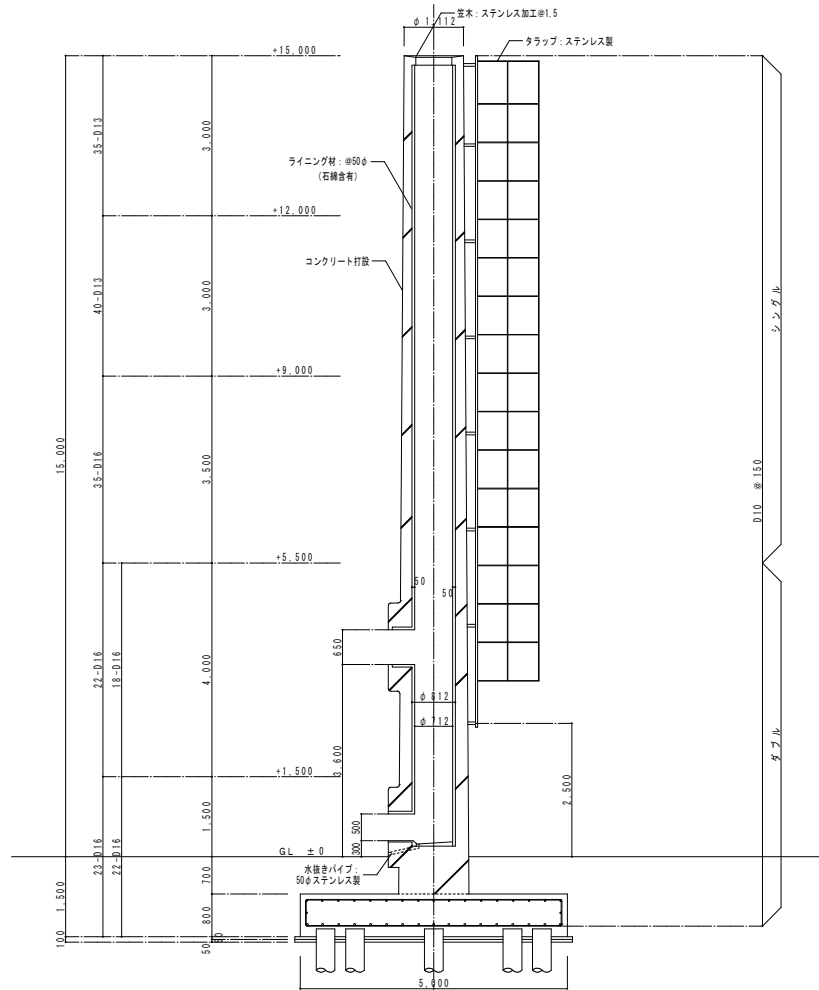


Y1通り軸組図 1/100

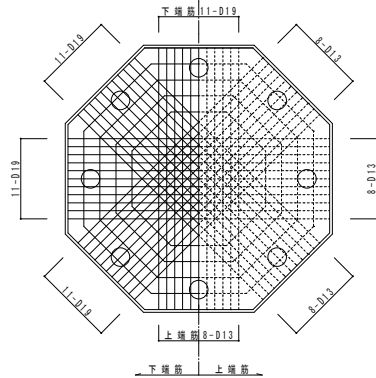
Y2通り軸組図 1/100

- 特記なき限り下記による
1. 立上り壁はW200とする
 2. 印はCB190とする
 3. 1FLより下部は推定とする
 4. 印は増打を示す

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 國武建築設計事務所	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校	図面番号
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高等煙突・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高等煙突・ボイラー室一部撤去工事	ボイラー室 伏図・軸組図・部材リスト	A1=1/100 A3=1/200	久留米市通町105番地の24 Phone 0942-33-1615 (代)	事務部長 総務部長 総務課長補佐 係長 担当	S-01



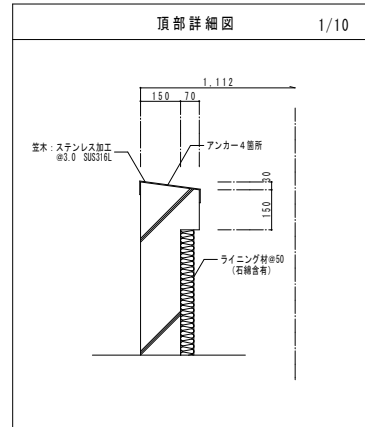
断面図 1/50



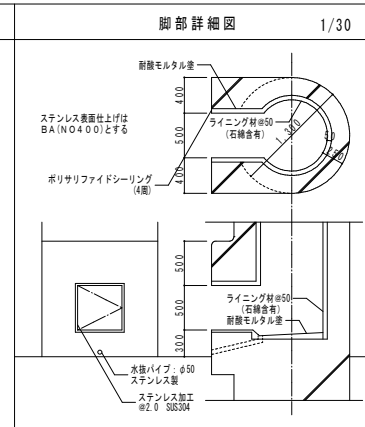
基礎配筋図 1/50

柱: PHC A種 350φ L=10M 計9本
抗耐力 20t/本

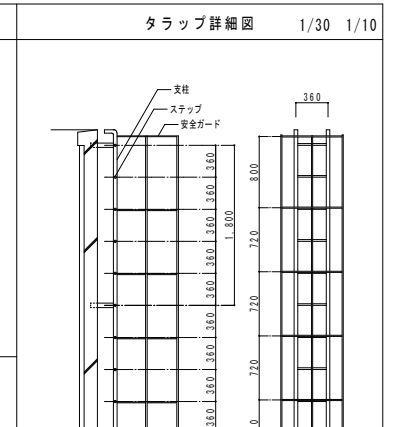
		配筋リスト					1/30	
位置		+15.000	+10.500	+6.000	+3.000	±0		
断面	断面							
	寸法	35-D13	40-D13	35-D16	18-D16 内 22-D16 外	22-D16 内 23-D16 外	D10-#150	
巻筋		D10-#150	D10-#150	D10-#150	D10-#150		D10-#150	



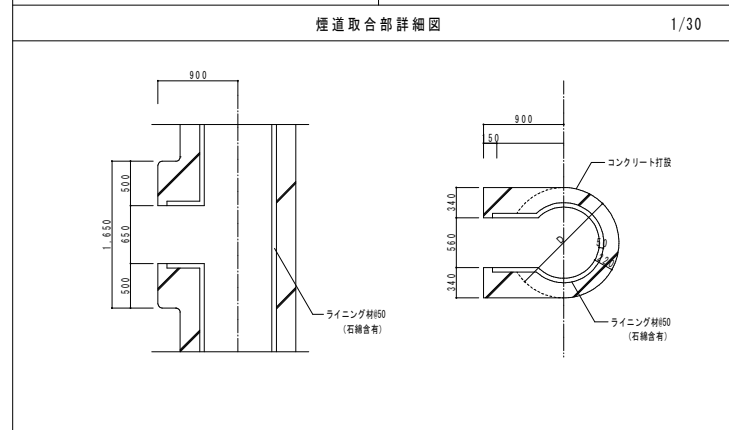
頂部詳細図 1/10



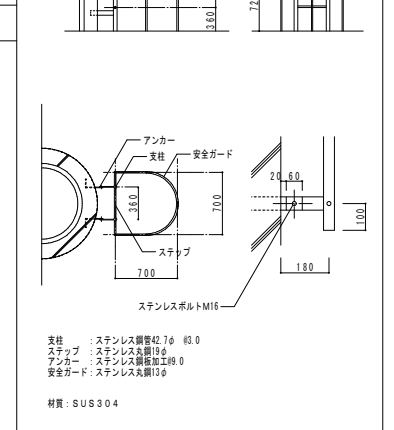
脚部詳細図 1/30



タラップ詳細図 1/30 1/10



煙道取合部詳細図 1/30



支柱: ステンレス鋼管φ42.7φ #3.0
ステップ: ステンレス鋼19φ
アンカー: ステンレス鋼加工φ9
安全ガード: ステンレス丸鋼13φ
材質: SUS304

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 國武建築設計事務所 久留米市通町105番地の24 1 級建築士登録 第181138号 Phone 0942-33-1615 (代) 横 澤 富 一	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				図面番号
令和6年度	令和6年11月	久留米工業高等煙突・ボイラー室一部撤去工事設計業務	久留米工業高等煙突・ボイラー室一部撤去工事	断面図・配筋リスト・各部詳細図	A1=1/50・30・10 A3=1/100・60・20		事務部長	総務部長	総務部長補佐	係長	担当